

2026年度 高校生クラス 学習指導計画

担任：山本延広

高校生クラスの4つの目標：

- 1.読解を通じて「知識」「語彙力」「感性」を高める
- 2.作文を通じて「思考力」と「書く力」を高める
- 3.スピーチの練習を通じて「話す力」を高める
- 4.漢字の学習を継続して行う（復習および新出漢字）

学期	テーマ	単元	学習内容
1	読解	●日本語能力試験「N2読解」テキスト使用 ●その他年齢・実力に応じた文章読解	●文化、社会、経済、政治など多岐に渡る文章を読み、設問に答える。 ●時事ニュース、著名な日本人のエッセイ、偉人の伝記などの文章を読解する。
	語彙	●日本語能力試験「N2語彙」テキスト使用 ●漢字の復習	●テキストに準じてテーマ別の多様な語彙をひとつずつ確認しながら、設問に答える。 ●小学校～中学校までに習った漢字を順次復習。および漢字テストの実施。
	スピーキング	●所定のトピックについて考え、発表する ●人前で自分の考えを表明する	●HSCのスピーキングトピック等を考え、発表する練習を行う。 ●人前でアドリブで話す練習やグループディスカッションを通じて話すことに慣れる。
	文章作成	●所定のテーマに対して自己の考えを文章にする	●HSCの過去問などを通じて、文章力と思考力を鍛える。
	その他	●グループディスカッション ●私のビジネスアイデア等	●他者と協調しながら所定のテーマに対して考え、発表する。 ●マーケティングの基礎知識学習。シドニーでどんなビジネスチャンスがあるか考える。
2	読解	●日本語能力試験「N2読解」テキスト使用 ●その他年齢・実力に応じた文章読解	●文化、社会、経済、政治など多岐に渡る文章を読み、設問に答える。 ●時事ニュース、著名な日本人のエッセイ、偉人の伝記などの文章を読解する。
	語彙	●日本語能力試験「N2語彙」テキスト使用 ●漢字の復習	●テキストに準じてテーマ別の多様な語彙をひとつずつ確認しながら、設問に答える。 ●小学校～中学校までに習った漢字を順次復習。および漢字テストの実施。
	スピーキング	●所定のトピックについて考え、発表する ●人前で自分の考えを表明する	●HSCのスピーキングトピック等を考え、発表する練習を行う。 ●人前でアドリブで話す練習やグループディスカッションを通じて話すことに慣れる。
	文章作成	●所定のテーマに対して自己の考えを文章にする	●HSCの過去問などを通じて、文章力と思考力を鍛える。
	その他	●敬語の学習	●丁寧語/尊敬語/謙譲語の使い方の確認 ●場面や状況に応じた敬語会話の実践的な練習
3	読解	●日本語能力試験「N1読解」テキスト使用 ●その他年齢・実力に応じた文章読解	●文化、社会、経済、政治など多岐に渡る文章を読み、設問に答える。 ●時事ニュース、著名な日本人のエッセイ、偉人の伝記などの文章を読解する。
	語彙	●日本語能力試験「N1語彙」テキスト使用 ●漢字の復習	●テキストに準じてテーマ別の多様な語彙をひとつずつ確認しながら、設問に答える。 ●小学校～中学校までに習った漢字を順次復習。および漢字テストの実施。
	スピーキング	●所定のトピックについて考え、発表する ●人前で自分の考えを表明する	●HSCのスピーキングトピック等を考え、発表する練習を行う。 ●人前でアドリブで話す練習やグループディスカッションを通じて話すことに慣れる。
	文章作成	●所定のテーマに対して自己の考えを文章にする	●HSCの過去問などを通じて、文章力と思考力を鍛える。
	その他	●現代社会について学ぶ	●世の中の仕組みや時事問題、環境問題について理解を深める
4	読解	●日本語能力試験「N1読解」テキスト使用 ●その他年齢・実力に応じた文章読解	●文化、社会、経済、政治など多岐に渡る文章を読み、設問に答える。 ●時事ニュース、著名な日本人のエッセイ、偉人の伝記などの文章を読解する。
	語彙	●日本語能力試験「N1語彙」テキスト使用 ●漢字の復習	●テキストに準じてテーマ別の多様な語彙をひとつずつ確認しながら、設問に答える。 ●小学校～中学校までに習った漢字を順次復習。および漢字テストの実施。
	スピーキング	●所定のトピックについて考え、発表する ●人前で自分の考えを言葉で表明する	●HSCのスピーキングトピック等を考え、発表する練習を行う。 ●人前でアドリブで話す練習やグループディスカッションを通じて話すことに慣れる。
	文章作成	●所定のテーマに対して自己の考えを文章にする	●HSCの過去問などを通じて、文章力と思考力を鍛える。
	その他	●グループディスカッション ●1年間のおさらい	●他者と協調しながら所定のテーマに対して考え、発表する。 ●語彙を中心にこれまでに習った学習内容の復習

* 授業の進捗状況、学校行事、生徒の理解度等の事情により、取り扱う単元や時期が異なることがあります。